

議員提案政策条例の規定による施策等の実施状況及び成果に関する報告書

1 条例の基本事項

条例の名称	茨城県県産木材利用促進条例		
担当課（室）	農林水産部林政課	公布日	平成26年4月1日
報告の根拠	(年次報告) 第18条 知事は、毎年度、県産木材の利用の促進に関して講じた施策の実施状況及び成果を取りまとめ、議会に対し報告するとともに、これを公表するものとする。		

2 (1) 条例の概要・施策体系図・推進体制等

茨城県県産木材利用促進条例の概要

平成26年3月20日制定

平成26年4月1日施行

前文

本県の林業及び木材産業は、林産物の生産を通して、水源を涵養し、県土を洪水や土砂災害から守り、自然との触れ合いや保健休養の場を提供するなど、森林の有する多面的機能を発揮する上で、重要な役割を果たしてきた。木材は環境への負荷が少なく、再生産が可能であることから、循環型社会を形成する上で重要であり、木材を化石燃料の代わりにエネルギーとして利用し、地球温暖化の防止に貢献することや、建築資材等を環境に優しい木材に転換することにより低炭素社会づくりを進めることなど、木材利用の拡大に対する期待が高まっている。

ここに、私たちは、木材が人に優しく、環境に負荷の少ない資源であることを認識し、県及び関係者が協働し、県産木材の幅広い利用を進めることを決意し、この条例を制定する。

総 則

目的

県産木材の利用の促進に関し、基本理念を定め、県の責務並びに関係者の役割を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、県産木材の利用の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって

- ・森林の有する多面的機能の持続的な発揮
- ・林業及び木材産業の健全な発展
- ・木材の積極的な利用による循環型社会の形成

に寄与することを目的とする。

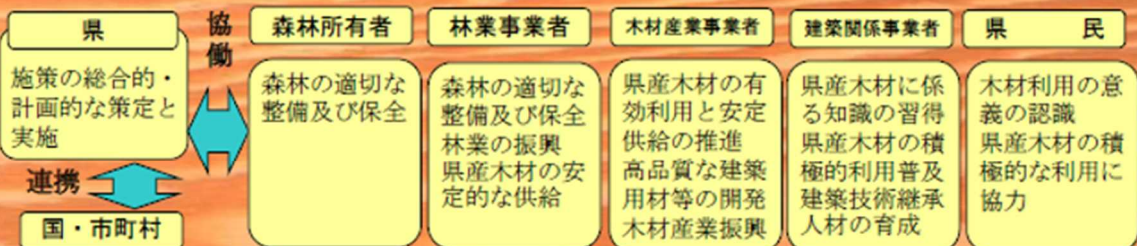
基本理念

県産木材の利用の促進は、森林の有する多面的機能の恩恵に感謝しつつ、森林資源が枯渇することがないよう次代に引き継ぐとともに、循環型社会の形成に資するよう持続的に行わなければならない。

責 務

役 割 ・ 協 力

責務と役割



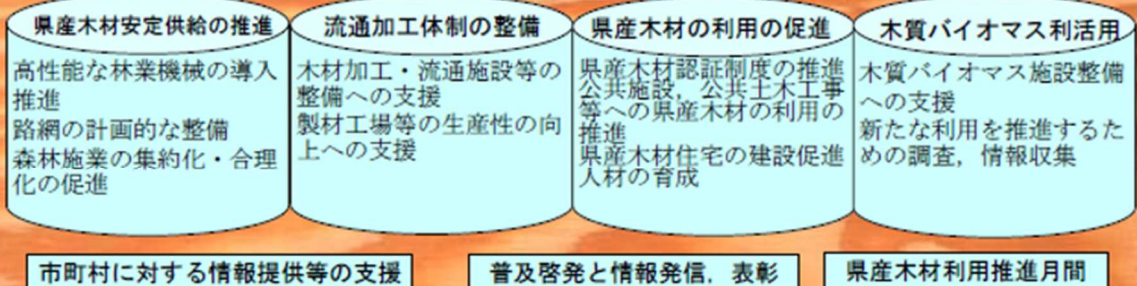
県産木材の利用の促進に関する指針

指針

知事は、県産木材の利用の促進について、基本的な指針である「県産木材の利用の促進に関する指針」を定める。①取組方針と目標 ②県産木材の利用及び供給の確保に関する基本的事項 ③その他

県産木材の利用の促進に関する基本的施策

基本的施策



その他の措置、付則

財政上の措置

(2) 条例制定後の主な取組

- 1 平成27年6月に「県産木材の利用の促進に関する指針」を策定（令和5年3月に改正）
- 2 県産木材の安定供給と利用促進を図るため、平成29年4月に木材関係団体が産地や品質を証明する「いばらき優良木材証明制度」を制定
- 3 森林保全や木材利用に係る県民への普及啓発として、毎年秋に「グリーンフェスティバル」を林業団体との共催により実施

[県内の素材生産量と新設住宅着戸数に対する木造率]

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
素材生産量 (千立方メートル)	312	341	414	420	433	435	405	454	423	401	455
新設住宅着 工戸数に 対する木造 率(%)	70.5	71.1	69.9	69.1	70.6	70.2	74.1	78.5	76.9	78.1	67.2

3 条例の規定による事業等の実施状況及び成果並びに今後の取組

(1) 県産木材安定供給の推進

事業名	事業主体	事業の内容	今年度 当初予算額 [千円] (前年度最終 予算額)
いばらき林業 トップランナ ー育成支援事 業	意欲と能力 のある林業 経営体のう ち森林経営 の集約化に 取り組む林 業経営体	<p>森林整備の効率化等を図るため、森林経営の集約化に取り組む経営体における高性能林業機械やスマート林業機器の導入などを支援する。</p> <p>【前年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高性能林業機械の導入 7 事業体 ・リモートセンシング 機器等の導入 5 事業体 ・スマート林業推進協議会の開催 4 回 <p>【今後の取組】</p> <p>森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるためには、林業の自立化が不可欠であることから、引き続き規模の拡大に取り組む林業経営体における生産コストの削減や安全性を向上させるための取組を支援していく。</p>	150,000千円 (139,880千円)

<p>林業改良指導事業</p>	<p>県</p>	<p>森林所有者や林業従事者、これらの後継者、市町村の担当者等に直に接して、森林・林業に関する技術及び知識の普及や、森林の施業等に関する指導等を行う。</p> <p>【前年度実績】</p> <p>(普及対象別内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林家 2,286名 ・会社等の事業体 1,195名 ・市町村 1,897名 ・森林組合等 6,756名 計 12,134名 <p>【今後の取組】</p> <p>森林の有する多面的機能を将来にわたって持続的に発揮するとともに、林業・木材産業を持続的に発展させるため、引き続き、地域林業の発展に必要な技術・知識の普及定着を図る。</p>	<p>171,939千円 (162,479千円)</p>
<p>林業担い手育成強化対策事業</p>	<p>(公社)茨城県森林・林業協会</p>	<p>林業就業希望者に対する相談及び林業事業体の経営力を向上するための研修会を実施し、林業従事者の確保・育成を図る。</p> <p>【前年度実績】</p> <p>(就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業希望者相談 69件 ・事業体相談・指導 189件 <p>(事業体経営力強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林計測機器の研修会等 3回(82名) <p>【今後の取組】</p> <p>林業生産活動を継続させていくためには、施業を担う林業従事者の育成・確保が必要であることから、引き続き、林業従事者の確保・育成を図る。</p>	<p>11,199千円 (11,183千円)</p>

<p>市町村森林整備等バックアップ事業（林業従事者技能向上対策）</p>	<p>（公社）茨城県森林・林業協会</p>	<p>主伐・再造林による一貫施業等を進める上で、必要な技術を習得した森林施業技術者を養成するため、林業従事者を対象に講習会を実施する。</p> <p>【前年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業道等路網整備技能習得 10回（24名） ・ 伐木・造材・搬出技能習得 18回（57名） ・ 地拵え・造林技能習得 4回（7名） <p>【今後の取組】</p> <p>再造林の省力化と低コスト化に向けて、引き続き、一貫施業等を進める上で、必要な技術を習得した森林施業技術者を養成する。</p>	<p>85,000千円 (60,000千円)</p>
<p>国補林道事業</p>	<p>市町村</p>	<p>林道の開設、改良、舗装及び林道の橋梁等の点検診断を支援する。</p> <p>【前年度実績】</p> <p>林道改良 1市 203m</p> <p>【今後の取組】</p> <p>林業の生産性を向上させるため、引き続き事業を継続する。</p>	<p>16,960千円 (14,000千円)</p>
<p>県単林道事業</p>	<p>県市町村</p>	<p>国補林道事業の対象とならない林道の開設、改良、舗装を支援する。</p> <p>【前年度実績】</p> <p>林道改良 5市町 9路線 1,283 m</p> <p>【今後の取組】</p> <p>林業の生産性を向上させるため、引き続き事業を継続する。</p>	<p>67,840千円 (71,635千円)</p>

(2) 流通加工体制の整備

事業名	事業主体	事業の内容	今年度 当初予算額 [千円] (前年度最終 予算額)
木材利用促進 施設整備事業	民間法人等	<p>県産木材の利用拡大を図るため、製材品の付加価値を高める木材加工施設等の整備を支援する。</p> <p>【前年度実績】 木材加工施設の整備 1件</p> <p>【今後の取組】 林業・木材産業を健全に発展させるためには、高い品質の製品を安定的に供給できる体制を整備する必要があることから、引き続き、木材加工流通施設等の整備を支援していく。</p>	1,350,040千円 (170,000千円)

(3) 県産木材の利用の促進

事業名	事業主体	事業の内容	今年度 当初予算額 [千円] (前年度最終 予算額)
木づかいチャ レンジ事業	民間法人等	<p>県産木材の利用促進を図るため、モデルとなる大規模な建築物等の木造化・木質化や、多くの県民が利用する施設におけるベンチやテーブル等の木製品の導入などを支援する。</p> <p>併せて、素材生産や製材、建築業者等が連携して取り組む住宅用県産木材の生産・流通体制の構築を支援する。</p> <p>【前年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造化・木質化支援 2 件 ・ 木製品の導入 1 件 ・ 住宅用木材生産・流通体制の構築 9 チーム <p>【今後の取組】</p> <p>県産木材の積極的な利用による循環型社会の形成に向けては、本県産木材の品質や供給能力を県外を含めて広くPRする必要があることから、引き続き、展示効果の高い木造建築物の整備等に対して支援を行っていく。</p>	117,800千円 (73,002千円)

<p>市町村森林整備等バックアップ事業（建築物木造化サポート事業）</p>	<p>茨城県産材普及促進協議会</p>	<p>県産木材を活用した建築物の整備促進を図るため、設計、調達等について専門家がサポートを行う取組を支援する。</p> <p>【前年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 26件 ・コーディネーター派遣 3件 <p>【今後の取組】</p> <p>非住宅分野における木造率は、未だ低位であることから、引き続き、取組を進めていく。</p>	<p>85,000 千円 (60,000 千円)</p>
<p>森林・林業体験学習促進事業</p>	<p>県（公社）茨城県森林・林業協会</p>	<p>小・中学生をはじめ県民に広く森林や林業について理解を深めてもらうため、森林・林業体験学習を実施するとともに、普及啓発活動等の取組を支援する。</p> <p>【前年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習参加者 8,050 人 ・普及啓発活動（イベント、展示会等による PR 活動） 6 回 <p>【今後の取組】</p> <p>森林や林業への県民の理解及び関心を深めるため、引き続き、体験学習や普及啓発活動を実施していく。</p>	<p>35,300 千円 (29,587 千円)</p>